

(専門分野)

授業科目	高齢者看護学概論	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1. 高齢者の身体的・社会的・精神的特徴とその生活について理解する。 2. 社会構造の変化と保健医療福祉制度の動向を理解する。 3. 老年期における健康課題と看護の役割について理解する。			時間数	
				15	
				学年	
				1	
				時期	
					第2学期
回数	主題	学習内容		授業方法	講師
1	ライフサイクルからの高齢者の理解	1. 老年期の定義 2. 加齢と老化 3. 老年期の発達課題 (エリクソン、ペック、バトラー)		講義	教員
	生活史からの高齢者の理解	1. 生活史からみた高齢者 2. 高齢者の多様性		講義	教員
2	高齢者の生活の変化	1. 生活の場、住宅環境 2. 生活リズムと生活習慣 3. 役割と生活活動、余暇活動 4. 就労・雇用 5. 収入・生計		講義	教員
3	加齢に伴う変化	1. 加齢に伴う変化の特徴 1) 身体的変化 2) 精神的変化 3) 社会的変化 4) セルフケア 2. 老年期の健康課題 3. 健康増進・疾病予防に伴う施策や取り組み		講義	教員
4	生活(療養)の場に応じた看護(病院・施設・在宅等)	1. 高齢者とヘルスプロモーション 2. 保健医療福祉施設および居住施設における看護 3. 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 4. 多職種連携実践による活動		講義	教員
	高齢者と家族	1. 家族構成の変化 2. 家族形態の変化 3. 老年者と家族の人間関係 4. 介護と家族		講義	教員
5	高齢者の保健・医療・福祉の動向	1. 人口学指標 2. 健康指標 3. 老人保健法 4. 老人福祉法		講義	教員

		5. 老人医療制度 長寿医療制度 6. 年金制度 7. 介護保険 8. 医療費の助成制度の活用 9. 保健医療福祉施設		
6	高齢者と QOL	1. 老年者の尊厳と権利擁護 2. ノーマライゼーション 3. 自立支援 4. フォーマルサービス・インフォーマルサポート	講義	教員
	老年看護における倫理的課題	1. 虐待 2. 身体拘束・抑制 3. 地域福祉権利擁護事業・成年後見制度	講義	教員
7	老年看護の役割	1. 経過に応じた看護 2. 治療に応じた看護	講義	教員
8	評価	単位認定試験 (45分)		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾病論 国民衛生の動向	